

## 2023 年度 第 1 回拡大職員会議「学童保育所の生活のなかでの安全」レポート

【クラブ】（        なかよしクラブ        ）

【名 前】（        吉川 美里        ）

心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

他のクラブの事故を機に、自分のクラブでも起こりうる事例として、なかよしクラブの指導員で事例検討をしました。情報、報告、原因究明、防止策を考えたり共有してみましたが、分かっているようでも、普段の共有とチームワークや協力の大切さを感じました。

今回は 6 クラブ集まっての危険予知トレーニングをグループワークで行いました。集まってみると十人十色で 考え方や捉え方等様々で、全員さっと危険個所を見つけて次々に危険予知の意見が出ました。イラストと違い、実際の現場で 子ども一人一人に寄り添いながらも広い視野を持って危険予知をする難しさ、日常の情報共有や協力は不可欠であると感じ、日頃そのために指導員が何人も配置されているともいえると思いました。そこで更に、指導員が多い日は“〇〇さんが見てくれるだろう”と、逆に緊張感が薄れる心配があるという意見があり、意識が持てるよう全員で定期的に共有しておかなければと思いました。

ヒヤリハットなども、“起こりうるかもしれない”と常に思い、“想定外のことまで、起こる前に考えること”で事故防止に繋げていけるようにしたいです。私たち指導員に出来ることは何か、やらなければいけないことは何か…検討や対策を講じるのは当然ですが、いざという時に、“子どもが自らの安全を守るための行動”が出来るように援助するのも大切なことだと思いました。指導員みんなが、ここをしっかりと頭において保育をしていけるよう、クラブの職員会議などで共有して考えていこうと思います。

子どもたちが元気に学童に来て楽しく過ごし、またけが無く心身共に元気で無事に帰るという大前提であり大切なこと。安全第一を考え、安全対策、危機管理の指針&点検リストを今一度しっかり見直していきたいです。

※提出されたレポートは、当会のホームページや広報誌に掲載する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※〆切は、12月3日（日）です。常勤専任指導員に手渡し、または、okazkaigakudou@yahoo.co.jp までお送りください。